事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0117
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　若林　雄一
所属　1488　こども未来部こども・若者政策課　記入者　金　永学
事務事業番号　00014　児童館運営事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001　子どもの未来が輝くまちにします				
施策	002　子どもを守る仕組みの充実				
取組の方向性	003　子ども・若者の健やかな育ちの支援				
事務事業	004　児童館運営事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	児童福祉法				
事業概要	（事業概要） ６児童館が、児童館運営基本方針及び活動基本指針に基づき、より広域的に多くの児童が利用できる魅力ある児童館づくりを積極的に推進し、あわせて地域における子どもの健全育成や子育て機能の充実を図っていく。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 急速な少子化の進行に伴う少子高齢化や、女性の就業率の上昇、共働き世帯の割合の増加等、子育て家庭を取り巻く環境も大きく変化している。核家族化や地域におけるつながりの希薄化等により、子育てに関する負担や不安、孤独感が高まっている。また、子どもが地域で幅広い年代の人々と関わり、様々な体験をする機会が減少している。さらには、貧困世帯の問題や児童虐待相談件数の増加等、子どもを取り巻く環境は厳しい現状にある。 （見直しや改善等の経過） 児童館における中高生向け活動の実施や備品の設置のほか、児童館の魅力発信プロジェクトを実施し、中高生の居場所づくり、来館促進に注力した。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	０歳～１８歳未満の子どもや、子育て中の保護者を対象に
目的（何のために）	地域における遊び及び生活の援助と子育て支援を行い、子どもの心身を育成し情操をゆたかにすることを目的として
手段（どのようなやり方で）	長期的・継続的にかかわり、遊び及び生活を通して子どもの発達の増進を図り、遊びの拠点と「居場所」場の提供、家庭や地域に対する子育て支援活動を実施し、
成果（どのような状態にするのか）	子育て中の保護者の負担を軽減し、親子がいきいきと生活できたり、小中学生が友だちの中で自分を発揮し、地域やいろいろな世代の方とのつながりを深めたりする。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	179,696	197,161	242,117	300,598	209,898	209,898	209,898
事業費	20,634	26,475	61,169	119,298	28,598	28,598	28,598
国庫支出金	0	0	0	14,359	0	0	0
県支出金	0	0	133	0	0	0	0
地方債	0	2,200	33,700	56,100	0	0	0
その他	463	147	81	81	81	81	81
一般財源	20,171	24,128	27,255	48,758	28,517	28,517	28,517
人件費計	159,062	170,686	180,948	181,300	181,300	181,300	181,300
事務・技術（人）	1.09	1.15	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20
技能労務（人）	5.00	4.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00
再任用（人）	3.30	4.30	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
会計年度任用（人）	24.98	25.39	23.92	24.00	24.00	24.00	24.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0117
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1488　こども未来部こども・若者政策課
事務事業番号　00014　児童館運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-50-05-00-01-00	児童館運営費	こども未来部こども・若者政策課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)未就学児童等活動事業数	回	560.00	500.00	500.00	500.00	500.00	500.00	500.00
		423.00	464.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)小中学生以上活動事業数	回	350.00	350.00	350.00	350.00	350.00	350.00	350.00
		262.00	239.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)児童館親子ふれあい活動参加者数R6～児童館利用者	人	48,000.00	65,000.00	65,000.00	65,000.00	65,000.00	65,000.00	65,000.00
		59,037.00	65,367.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)親子ふれあい活動について満足度８０%以上の人数割合	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	99.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	直営で、平時より情報共有、意見交換しながら事業実施している			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	参加者の満足度の高さ、参加者数に鑑み、成果は上がっている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	年代別に各児童館の特性を活かした事業を実施しており効率的			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	子育て支援、こどもの遊び場、居場所として施策に貢献している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	未就学児とその保護者に対しては、相談、援助、子育て交流の場の提供など、地域子育て支援拠点として活動内容の充実を図っていく。 また、小学生以上の子どもに対しては、それぞれの年代の子どもたちが安全に安心して過ごせる居場所となるよう、子どもの多様なニーズを踏まえた活動を展開することで児童館の利用促進を図る。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	幅広い年齢層の子どもが自由に利用できる児童館として、それぞれの児童館の利用傾向や地域性を踏まえながら、どの年代の子どもにとっても安心できる居場所となるよう機能の充実を図る。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1488　こども未来部こども・若者政策課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00014　児童館運営事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)未就学児童等活動事業数	回	560.00 423.00	500.00 464.00	500.00 0.00	500.00 0.00	500.00 0.00	500.00 0.00	500.00 0.00
	指標説明	６児童館の未就学児親子の活動事業数（就学前の親子対象とした活動）で、令和６年度から児童館数が減数したため目標回数を見直し、令和７年度から未就学児と保護者の活動回数を目標値とする。						
(活動)小中学生以上活動事業数	回	350.00 262.00	350.00 239.00	350.00 0.00	350.00 0.00	350.00 0.00	350.00 0.00	350.00 0.00
	指標説明	６児童館の小中学生以上活動事業数						
(成果)児童館親子ふれあい活動参加者数 R6～児童館利用者	人	48,000.00 59,037.00	65,000.00 65,367.00	65,000.00 0.00	65,000.00 0.00	65,000.00 0.00	65,000.00 0.00	65,000.00 0.00
	指標説明	６児童館の親子ふれあい活動参加者の合計数						
(成果)親子ふれあい活動について満足度８０%以上の人数割合	%	100.00 100.00	100.00 99.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	各児童館の親子ふれあい活動（２歳児登録制）参加者の満足度指数						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0118
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　若林　雄一
所属　1488　こども未来部こども・若者政策課　記入者　福本　真子
事務事業番号　00044　ファミリーサポートセンター運営事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001　子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001　切れ目のない子育て支援				
取組の方向性	001　妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援				
事務事業	006　ファミリーサポートセンター運営事業				
運営方法	民間委託				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	児童福祉法、子ども・子育て支援法				
事業概要	（事業概要） 仕事と育児を両立できる環境を整備するとともに、地域の子育て支援を行うため、平成１３年４月に「ファミリーサポートセンター」を設立し、同年７月から会員による相互援助活動を行っている。 事業の管理運営については、社会福祉法人大津市社会福祉協議会に委託している。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 出生数の減少に伴い、対象となる子どもが減っている中でも、保護者の働き方の多様化や近所づきあいの希薄化などにより、子どもの見守りを支援する当該事業は一定のニーズがある。 （これまでの見直し） 依頼会員が安心して利用できるよう、国が示す基準に基づいて安全講習の実施を強化している。また、援助会員を増やすために、地域での関係機関の会議での担い手への声掛けや、会員同士の誘い合いを促す取組に努めている。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	育児の援助を行いたい者と受けたい者が、ファミリーサポートセンターで会員登録し、
目的（何のために）	仕事と育児を両立できる環境を整備するとともに、地域の子育て支援を行うために、
手段（どのようなやり方で）	ファミリーサポートセンターのアドバイザーが会員間のニーズのあった調整を行い、援助活動を実施し、
成果（どのような状態にするのか）	仕事と育児の両立支援、地域の子育て支援を行う。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	16,495	16,100	15,300	15,955	15,955	15,955	15,955
事業費	14,545	12,100	12,100	12,755	12,755	12,755	12,755
国庫支出金	4,848	4,033	4,033	4,251	4,251	4,251	4,251
県支出金	4,848	4,033	4,033	4,251	4,251	4,251	4,251
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	4,849	4,034	4,034	4,253	4,253	4,253	4,253
人件費計	1,950	4,000	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200
事務・技術（人）	0.25	0.50	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0118
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1488　こども未来部こども・若者政策課
事務事業番号　00044　ファミリーサポートセンター運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-05-28-00-25-00	ファミリーサポートセンター運営事業費	こども未来部こども・若者政策課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)センター会員数（新規）	人	200.00 188.00	200.00 187.00	200.00 0.00	200.00 0.00	200.00 0.00	200.00 0.00	200.00 0.00
(活動)説明会、講習会等の参加人数	人	400.00 93.00	400.00 79.00	400.00 0.00	400.00 0.00	400.00 0.00	400.00 0.00	400.00 0.00
(成果)センター活動件数	件	5,644.00 3,291.00	5,600.00 3,104.00	5,600.00 0.00	5,600.00 0.00	5,600.00 0.00	5,600.00 0.00	5,600.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	市全域に子育て支援ネットワークを作る仕組みであるため。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	各指標は目標に達していないが成果達成に向けて取り組んでいる。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	委託相手先が市全域に子育てのネットワークを有しているから。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	B
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	仕事と育児の両立支援、地域の子育て支援の一部を担っているから			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	事業規模や内容の見直しが必要	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	令和７年度の新規会員数については187名であり、令和６年度の188名とほぼ同数であったが、今後も持続可能な体制が維持できるよう、事業周知については、子育て家庭に届くような方法を検討する。また、援助会員の確保について、援助会員のニーズ調査を実施するなど、援助する側の活動のしやすさにつながるよう見直しを検討する。		

【部局評価結果】

総合評価	事業規模や内容の見直しが必要	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	本制度における相互扶助による子育て支援が継続されるよう、広報周知及び会員特に援助を行う会員の加入促進に向けた取組を行っていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1488　こども未来部こども・若者政策課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00044　ファミリーサポートセンター運営事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)センター会員数（新規）	人	200.00 188.00	200.00 187.00	200.00 0.00	200.00 0.00	200.00 0.00	200.00 0.00	200.00 0.00
	指標説明	会員登録数（依頼会員、提供会員、両方会員）						
(活動)説明会、講習会等の参加人数	人	400.00 93.00	400.00 79.00	400.00 0.00	400.00 0.00	400.00 0.00	400.00 0.00	400.00 0.00
	指標説明	会員のための講習会、交流会参加人数						
(成果)センター活動件数	件	5,644.00 3,291.00	5,600.00 3,104.00	5,600.00 0.00	5,600.00 0.00	5,600.00 0.00	5,600.00 0.00	5,600.00 0.00
	指標説明	実際に援助活動を行った件数						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0119
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　若林　雄一
所属　1488　こども未来部こども・若者政策課　記入者　奥山　衣美
事務事業番号　00871　青少年健全育成事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001　子どもの未来が輝くまちにします				
施策	002　子どもを守る仕組みの充実				
取組の方向性	003　子ども・若者の健やかな育ちの支援				
事務事業	001　青少年健全育成事業				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	地方青少年問題協議会法				
事業概要	（事業概要） 次代を担う青少年を健全に育成するため、本市における青少年健全育成施策を推進する。また、関係団体・機関等と連携を図りながら、家庭・地域・学校が一体となった市民運動として事業を展開し、青少年の健全育成に対する意識高揚を図る。（１）青少年健全育成に係る各種啓発活動　（２）青少年育成市民会議活動への支援　（３）中学生広場の開催				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 少子高齢化や情報化の急速な進展、生活様式の変化など、青少年を取り巻く環境は大きく変化しており、不安を抱いたり孤立する青少年が多く存在する。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民及び青少年関係団体を対象に
目的(何のために)	次代を担う青少年の健全育成を行うために
手段(どのようなやり方で)	青少年育成学区民会議等と連携して事業を展開し
成果(どのような状態にするのか)	青少年の健全育成に対する市民意識の高揚を図るとともに、青少年が健やかに成長できる社会環境の整備を図る

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	18,443	19,227	18,626	19,017	19,017	19,017	19,017
事業費	7,515	7,347	7,546	7,937	7,937	7,937	7,937
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	211	438	438	438	438	438	438
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	6,000	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,304	6,909	7,108	7,499	7,499	7,499	7,499
人件費計	10,928	11,880	11,080	11,080	11,080	11,080	11,080
事務・技術（人）	0.56	0.66	0.56	0.56	0.56	0.56	0.56
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	1.64	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0119
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1488　こども未来部こども・若者政策課
事務事業番号　00871　青少年健全育成事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-05-40-00-01-00	青少年健全育成事業費	こども未来部こども・若者政策課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)啓発活動の回数	回	1,200.00 917.00	1,200.00 955.00	1,200.00 0.00	1,200.00 0.00	1,200.00 0.00	1,200.00 0.00	1,200.00 0.00
(成果)青少年育成学区民会議活動への参加者数	人	61,000.00 73,590.00	61,000.00 75,975.00	61,000.00 0.00	61,000.00 0.00	61,000.00 0.00	61,000.00 0.00	61,000.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	各学区との連携により市内全域の活動に繋がっている			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	活動への参加者は増加しており健全育成の意識高揚に繋がっている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	各学区の団体と連携した取組であり効率的である			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	各学区で取組が継続されており青少年の健全育成に貢献している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	青少年育成学区民会議の活動への参加者数は増加しており、各学区における啓発活動や見守り活動を通じて青少年の健全育成に対する市民意識の高揚に繋がっている。引き続き、市内全域で活動が継続されるよう、青少年の健やかな成長と自立に向けた取組を進めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	地域団体と連携し、啓発活動や見守り活動を通して、地域の子どもは地域で見守るという意識を共有し、青少年の健全育成に対する地域社会全体の意識醸成を図っていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1488　こども未来部こども・若者政策課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00871　青少年健全育成事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)啓発活動の回数	回	1,200.00 917.00	1,200.00 955.00	1,200.00 0.00	1,200.00 0.00	1,200.00 0.00	1,200.00 0.00	1,200.00 0.00
	指標説明	あいさつ運動、パトロール回数						
(成果)青少年育成学区民会議活動への参加者数	人	61,000.00 73,590.00	61,000.00 75,975.00	61,000.00 0.00	61,000.00 0.00	61,000.00 0.00	61,000.00 0.00	61,000.00 0.00
	指標説明	各青少年育成学区民会議活動への参加者数						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0120
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　若林　雄一
所属　1488　こども未来部こども・若者政策課　記入者　門坂　勇気
事務事業番号　02265　子ども・若者育成支援推進事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001　子どもの未来が輝くまちにします				
施策	002　子どもを守る仕組みの充実				
取組の方向性	003　子ども・若者の健やかな育ちの支援				
事務事業	003　子ども・若者育成支援推進事業				
運営方法	民間委託				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	子ども・若者育成支援推進法				
事業概要	（事業概要） 子ども・若者総合相談窓口と子ども・若者支援地域協議会を設置し、社会生活を営む上で困難を有する子ども・若者を支援する体制をつくる。子ども・若者支援地域協議会において、意見交換会、研修会、グループワーク、講演会を実施し、支援機関のスキルアップと連携を図る。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 深刻化している少子高齢化や就業形態の多様化、情報社会の進展による有害情報の拡散、貧困問題、不登校、若年無業者、ひきこもりの長期化等の問題が顕在化している。 （見直しや改善等の経過） 平成２９年１０月に子ども・若者総合相談窓口と支援地域協議会を設置。令和３年度には窓口の人員を週１４時間分増員し、体制の充実を図った。令和５年度から当事者交流、体験といった当事者支援事業を子ども・若者総合相談窓口の委託に含めた。 令和７年度から支援地域協議会で個別ケース検討会議を開催できる体制を整えた。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	ニート、ひきこもり等、社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者を対象に
目的(何のために)	健やかに成長し、職業的な自立を含めて、社会生活を円滑に営むことができるようにするために
手段(どのようなやり方で)	子ども・若者総合相談窓口において相談に応じ、関係機関等の紹介その他の必要な情報の提供及び助言等を行うとともに、支援地域協議会において各関係支援機関との連携を深めることで
成果(どのような状態にするのか)	全ての子ども・若者が将来に希望を持ち、社会的に自立することができる環境を整備する

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	13,106	16,220	16,528	21,960	21,960	21,960	21,960
事業費	9,174	9,420	9,728	15,160	15,160	15,160	15,160
国庫支出金	0	0	0	5,000	5,000	5,000	5,000
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	9,174	9,420	9,728	10,160	10,160	10,160	10,160
人件費計	3,932	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800
事務・技術（人）	0.34	0.74	0.74	0.74	0.74	0.74	0.74
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.32	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0120
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1488　こども未来部こども・若者政策課
事務事業番号　02265　子ども・若者育成支援推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-05-40-00-11-00	子ども・若者育成支援推進事業費	こども未来部こども・若者政策課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)大津市子ども・若者支援地域協議会開催回数	回	5.00 4.00	5.00 4.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00
(活動)大津市子ども・若者総合相談窓口への相談件数	件	1,300.00 1,666.00	2,000.00 1,736.00	2,000.00 0.00	2,000.00 0.00	2,000.00 0.00	2,000.00 0.00	2,000.00 0.00
(成果)大津市子ども・若者支援地域協議会出席率	%	80.00 60.65	80.00 61.69	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	相談支援と連携促進を窓口と協議会で推進している。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	相談支援によりこども・若者支援を進められている。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	窓口の民間委託により、相談支援が効率的に進められている。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	相談支援と連携促進により施策目標の達成に貢献している。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント （４００文字）	窓口における相談支援及び居場所づくりによる相談者の段階的な社会参加への支援や、支援地域協議会において、義務教育卒業後の進路の多様化（通信制高校等）、１８歳以上の若者支援の切れ目、子ども・若者が抱える困難の複雑化などを背景とする、社会生活を営む上で困難を有する子ども・若者の社会的自立のための切れ目のない支援について引き続き検討を進めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント （４００文字）	相談窓口での相談支援を継続するとともに、子ども・若者支援地域協議会において、困難を有する子ども・若者の支援が切れ目なく行えるよう、関係機関とのネットワークづくりについての取組を進めていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1488　こども未来部こども・若者政策課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　02265　子ども・若者育成支援推進事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)大津市子ども・若者支援地域協議会開催回数	回	5.00 4.00	5.00 4.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00
	指標説明	令和２年度より代表者・実務者会議のみをカウントすることに変更 令和８年度から実態に即した目標値に変更						
(活動)大津市子ども・若者総合相談窓口への相談件数	件	1,300.00 1,666.00	2,000.00 1,736.00	2,000.00 0.00	2,000.00 0.00	2,000.00 0.00	2,000.00 0.00	2,000.00 0.00
	指標説明	平成２９年１０月１日開設						
(成果)大津市子ども・若者支援地域協議会出席率	%	80.00 60.65	80.00 61.69	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00	80.00 0.00
	指標説明	代表者・実務者会議への出席率						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0121
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　若林　雄一
所属　1488　こども未来部こども・若者政策課　記入者　奥山　衣美
事務事業番号　02384　子育て地域活動支援事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001　子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001　切れ目のない子育て支援				
取組の方向性	002　子育てを支援する仕組みの充実				
事務事業	003　子育て地域活動支援事業				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	子ども・子育て支援法				
事業概要	（事業概要） 福祉７エリア内に、子育て中の家族が気軽に集い交流できる子育て支援の拠点を整備している。 ・地域子育て支援拠点を、志賀・東部のエリア２カ所で指定管理者により、北部・中北部・南部のエリア３カ所で委託により、中部・中南部のエリア２カ所で直営により、それぞれ実施している。 ・子育てステーション事業を、市立保育園１４カ所で実施している。 （令和７年度から子育てステーション事業は、子育てひろばゆめっこ運営事業へ移行）				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 出生数の減少や幼稚園の３年保育の実施、民間保育園の新規開設等により、子育て支援拠点の利用者は低年齢化が進んでいる。 （見直しや改善等の経過） 市内の各福祉エリアに子育て支援拠点を整備し、互いに情報交換を行うなど子育て情報の共有を行い、事業の見直しを行っている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	就学前の子どもとその家族を対象に
目的(何のために)	子育て中の家族の不安感・負担感を軽減し、孤立化を防止するために
手段(どのようなやり方で)	気軽に集い交流できる子育て支援の拠点を地域に開設し、
成果(どのような状態にするのか)	安心して子育てができる環境を整備し、地域の子育て支援機能を充実させる。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	52,358	44,652	41,583	42,908	42,908	42,908	42,908
事業費	37,668	41,452	35,983	37,308	37,308	37,308	37,308
国庫支出金	7,492	12,551	12,551	12,551	12,551	12,551	12,551
県支出金	7,492	12,551	12,551	12,551	12,551	12,551	12,551
地方債	3,661	0	0	0	0	0	0
その他	13	0	0	0	0	0	0
一般財源	19,010	16,350	10,881	12,206	12,206	12,206	12,206
人件費計	14,690	3,200	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600
事務・技術（人）	0.50	0.40	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70
技能労務（人）	1.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.65	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0121
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1488　こども未来部こども・若者政策課
事務事業番号　02384　子育て地域活動支援事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-05-22-00-19-00	子育て地域活動支援事業費	こども未来部子育てひろばゆめっこ

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)つどいの広場箇所数	カ所	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00
		6.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)ステーション事業実施園数	カ所	14.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		14.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)つどいの広場来場者数	人	55,000.00	55,000.00	55,000.00	55,000.00	55,000.00	55,000.00	55,000.00
		54,445.00	60,300.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)ステーション事業参加者数	人	2,050.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		3,727.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	各福祉エリアに子育て支援拠点を整備している。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	来場者の増加など地域の子育て支援機能の充実が図れている。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	指定管理等の手法により各福祉エリアで整備ができている。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	つどいの広場の整備により子育て支援の充実に貢献している。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	つどいの広場の利用者数は前年度から増加しており、子育て家族の地域における交流の場として孤立防止に繋がっている。今後も引き続き関係機関と連携しながら、各福祉エリア内に整備した子育て支援拠点の機能充実を図る。 （志賀・東部のエリア２カ所指定管理、北部・中北部・南部エリア３カ所委託、中部・中南部エリア２カ所直営）		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	今後も、各エリアの実情に合わせ地域の子育て支援拠点としての機能の充実を図り、安心して子育てができる環境整備に努めていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1488　こども未来部こども・若者政策課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　02384　子育て地域活動支援事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)つどいの広場箇所数	カ所	6.00 6.00	6.00 6.00	6.00 0.00	6.00 0.00	6.00 0.00	6.00 0.00	6.00 0.00
	指標説明	箇所数						
(活動)ステーション事業実施園数	カ所	14.00 14.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	箇所数 令和７年度に「子育てひろばゆめっこ運営事業」へ移行						
(成果)つどいの広場来場者数	人	55,000.00 54,445.00	55,000.00 60,300.00	55,000.00 0.00	55,000.00 0.00	55,000.00 0.00	55,000.00 0.00	55,000.00 0.00
	指標説明	来場した大人＋子ども＝来場者数						
(成果)ステーション事業参加者数	人	2,050.00 3,727.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	来場した大人＋子ども＝来場者数 令和７年度に「子育てひろばゆめっこ運営事業」へ移行						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0122
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　若林　雄一
所属　1435　こども未来部子育てひろばゆめっこ　記入者　小幡　亜紀子
事務事業番号　00011　大津っ子みんなで育て愛全戸訪問事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001　子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001　切れ目のない子育て支援				
取組の方向性	001　妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援				
事務事業	010　大津っ子みんなで育て愛全戸訪問事業				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	子ども・子育て支援法				
事業概要	（事業概要） 生後４カ月までの乳児のいる全ての家庭を訪問する「大津っ子みんなで育て愛全戸訪問事業」を実施している。 保育士と民生委員児童委員が２人一組で訪問し、赤ちゃんの誕生をお祝いするとともに子育て支援情報の提供を行う。また訪問し、支援が必要な場合はすこやか相談所等に連絡する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 核家族化や地域との関わりが希薄化している中、子育てへの不安感、負担感を抱くことが多く地域での見守りが必要とされている。 令和５年２月２０日より「出産・子育て応援給付金」が開始されたことで、新生児訪問での対応が増えている。 （見直しや改善等の経過） 平成２９年度につどいの広場利用者のニーズ調査を行い、新生児期は子育てに関する情報提供を求めていることから、平成３０年度より子育てハンドブックを対象者全員に配布している。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	生後４カ月までの乳児がいる全ての家庭を対象に
目的(何のために)	乳児家庭の孤立化を防ぎ、乳児にとり健全な育成環境を整えていくために
手段(どのようなやり方で)	保育士と民生委員児童委員が２人一組で訪問し
成果(どのような状態にするのか)	支援が必要な家庭に対して適切なサービスが提供できるようにする。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	15,627	18,018	18,017	17,677	17,677	17,677	17,677
事業費	6,607	7,778	7,777	7,789	7,789	7,789	7,789
国庫支出金	357	267	773	533	533	533	533
県支出金	267	309	773	533	533	533	533
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	5,983	7,202	6,231	6,723	6,723	6,723	6,723
人件費計	9,020	10,240	10,240	9,888	9,888	9,888	9,888
事務・技術（人）	0.90	0.95	0.95	0.95	0.95	0.95	0.95
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.50	0.60	0.60	0.52	0.52	0.52	0.52
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0122
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1435　こども未来部子育てひろばゆめっこ
事務事業番号　00011　大津っ子みんなで育て愛全戸訪問事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-05-22-00-15-00	大津っ子みんなで育て愛全戸訪問事業費	こども未来部子育てひろばゆめっこ

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)訪問員研修回数	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)訪問実施率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		98.12	99.04	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	B
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	全戸訪問実施件数が減少のため手段について要検討			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	全戸訪問事業はすべての乳児家庭を訪問していることから有効			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	B
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	全戸訪問実施件数が減少のため効率的手法について要検討			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	B
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	乳児を抱える家庭の不安解消に寄与しているが実施件数が減少			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	事業規模や内容の見直しが必要	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	新生児訪問と合わせ、地域の保育園、民生委員児童委員の協力を得て全戸訪問事業を実施してきたが、令和５年に国の制度が変更されたことにより、全戸訪問の実施件数が大きく減少した。しかし、生後４か月までの全戸訪問事業は、継続が必要であることから、さらに効率的な実施方法について見直しを図っていく。 また、母子保健課、すこやか相談所との連携のもと、地域の中で子どもが健やかに育つ環境整備を図り、必要な子育て支援情報を提供できるよう幅広く情報を収集し発信していく。		

【部局評価結果】

総合評価	事業規模や内容の見直しが必要	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	関係機関等と協力し、子育て中の家庭の孤立化を防ぐため、子育てに関する情報等を提供するなど、地域で安心して子育てができる環境の整備を行う。 新生児訪問と合わせ、地域の保育園、民生委員児童委員の協力を得て全戸訪問事業を実施してきたが、令和５年に国の制度が変更されたことにより、全戸訪問の実施件数が大きく減少した。しかし、生後４か月までの全戸訪問事業は、継続が必要であることから、さらに効率的な実施方法について見直しを図っていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1435　こども未来部子育てひろばゆめっこ
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00011　大津っ子みんなで育て愛全戸訪問事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)訪問員研修回数	回	1.00 1.00	1.00 1.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00
	指標説明	訪問に伴う研修回数						
(成果)訪問実施率	%	100.00 98.12	100.00 99.04	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	訪問率（訪問できた世帯数÷対象世帯数）						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0123
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　若林　雄一
所属　1435　こども未来部子育てひろばゆめっこ　記入者　小幡　亜紀子
事務事業番号　00036　子育てひろばゆめっこ運営事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001　子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001　切れ目のない子育て支援				
取組の方向性	002　子育てを支援する仕組みの充実				
事務事業	002　子育てひろばゆめっこ運営事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	子ども・子育て支援法				
事業概要	（事業概要） 大津市の子育て支援に係る企画、実践、情報収集と発信の拠点として事業展開する。 「子どもや子育てに夢が広がる場、世代を超える出会いとつながりあいの場、安心と信頼の気持ちを抱き、誰もが集える場、子育ては楽しい！幸せと感じる場、一人ひとりの出番があり、共に育ち合える場」を理念に、情報の収集と発信事業、親子・家族の交流、学習、体験事業、子育て語り合い相談事業等を行う。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 出生数の減少や幼稚園の３年保育の実施、保育園の新規開設等により、子育て支援拠点の利用者は低年齢化の傾向にある。 （見直しや改善等の経過） 利用者が低年齢化していることから、利用者のニーズに合った必要な事業内容に見直しを行っている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	就学前の子どもとその家族や、子育て支援に関わる関係者等の子育て仲間を対象に
目的(何のために)	子どもを安心して産み育て、共に育ち合う子育て仲間のつながるまちづくりを推進するために
手段(どのようなやり方で)	日常的なつどいの場の開設、気軽に集え子育て支援につながる講座の開催、子育てについての相談対応、身近な居住地域における遊びの提供等、人と関わることが心地よいと感じる親子、家族の体験活動を通して
成果(どのような状態にするのか)	子育ての楽しさや子どもを地域で育て合う大切さを認識し、自身の子育てに活かし、子育て仲間とつながり合い、共に子育てを楽しむことを通して、子育ての負担感を軽減し、子どもを産み育てることに喜びを見い出す。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	73,193	75,951	77,383	77,472	77,472	77,472	77,472
事業費	19,863	11,191	12,183	12,272	12,272	12,272	12,272
国庫支出金	3,471	5,180	5,179	5,180	5,180	5,180	5,180
県支出金	3,471	5,180	5,179	5,180	5,180	5,180	5,180
地方債	7,726	0	0	0	0	0	0
その他	66	136	149	149	149	149	149
一般財源	5,129	695	1,676	1,763	1,763	1,763	1,763
人件費計	53,330	64,760	65,200	65,200	65,200	65,200	65,200
事務・技術（人）	3.55	3.75	3.75	3.75	3.75	3.75	3.75
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	6.41	7.90	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0123
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1435　こども未来部子育てひろばゆめっこ
事務事業番号　00036　子育てひろばゆめっこ運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-05-22-00-11-00	子育てひろばゆめっこ運営事業費	こども未来部子育てひろばゆめっこ

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
（活動）子育て講座開催回数	回	95.00	95.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00
		197.00	197.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（成果）年間事業参加人数	人	6,500.00	6,500.00	7,200.00	7,200.00	7,200.00	7,200.00	7,200.00
		7,003.00	7,114.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（活動）子育てひろばゆめっこ開設日	日	292.00	292.00	292.00	292.00	292.00	292.00	292.00
		290.00	291.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（成果）子育てひろばゆめっこ来場者数	人	60,000.00	60,000.00	63,000.00	63,000.00	63,000.00	63,000.00	63,000.00
		61,882.00	63,076.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	市内６か所のつどいの広場を統括する拠点であるため			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	子育て中の家族に必要な施設である			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	他機関と連携の他に、アプリを活用し効率的な情報発信			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	つどいの広場提供や、情報発信等により子育て支援に貢献している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	子育て家庭の状況を把握し、市内の子育て支援の発信の拠点として、関係機関や子育て支援者と連携し、子育て中の家族が安心して利用し、育ち合えるための事業を展開していく。 また、来館者の年齢層や世代のニーズに合った事業を見直しながら継続するとともに、子育てアプリ等を活用して幅広く子育ての情報を発信し、子育てに関する相談に応じ、切れ目ない子育て支援を行う。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	子どもを安心して産み育て 、子育て仲間とつながり合い、共に子育てを楽しむことをとおして、誰もが集え交流できる場の提供や情報発信の拠点として、事業を展開をしていく。 また、来館者の年齢層や世代のニーズに合った事業を見直しながら継続し、関係機関等と子育て支援者と連携を図りながら、切れ目のない子育て支援の充実に努めていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1435　こども未来部子育てひろばゆめっこ
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00036　子育てひろばゆめっこ運営事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
（活動）子育て講座開催回数	回	95.00 197.00	95.00 197.00	200.00 0.00	200.00 0.00	200.00 0.00	200.00 0.00	200.00 0.00
	指標説明	講座開催回数　令和８年より実績を反映し目標値を上げ変更する。						
（成果）年間事業参加人数	人	6,500.00 7,003.00	6,500.00 7,114.00	7,200.00 0.00	7,200.00 0.00	7,200.00 0.00	7,200.00 0.00	7,200.00 0.00
	指標説明	講座等参加者保護者＋子ども＝人数　令和８年度より実績を反映し目標値を上げ変更する。						
（活動）子育てひろばゆめっこ開設日	日	292.00 290.00	292.00 291.00	292.00 0.00	292.00 0.00	292.00 0.00	292.00 0.00	292.00 0.00
	指標説明	開館日数　【令和６年度までの施設名：子育て総合支援センター】						
（成果）子育てひろばゆめっこ来場者数	人	60,000.00 61,882.00	60,000.00 63,076.00	63,000.00 0.00	63,000.00 0.00	63,000.00 0.00	63,000.00 0.00	63,000.00 0.00
	指標説明	来場した保護者＋子ども＝人数（コロナ制限廃止により令和6年度より目標値を変更した）令和８年度より実績を反映し目標値を上げ変更する。						
(活動)ステーション事業実施園数	箇所	0.00 0.00	14.00 13.00	14.00 0.00	14.00 0.00	14.00 0.00	14.00 0.00	14.00 0.00
	指標説明	箇所数　【令和７年度に「子育て地域活動支援事業」より移行】						
(成果)ステーション事業参加者数	人	0.00 0.00	2,050.00 3,482.00	3,500.00 0.00	3,500.00 0.00	3,500.00 0.00	3,500.00 0.00	3,500.00 0.00
	指標説明	来場した大人＋子ども＝来場者数　【令和７年度に「子育て地域活動支援事業」より移行】 令和８年度より実績を反映し目標値を上げ変更する。						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0124
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　鹿島　良平
所属　1447　こども未来部幼保支援課　記入者　赤井　加代子
事務事業番号　00017　幼稚園子育て支援事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001　子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001　切れ目のない子育て支援				
取組の方向性	003　子どもの教育・保育の充実				
事務事業	013　幼稚園子育て支援事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	学校教育法２４条・幼稚園教育要領				
事業概要	（事業概要） 幼稚園が、地域や家庭の実情に応じながら、子育て支援機能を活用して「親と子の育ちの場」としての役割や機能を充実し、家庭や地域の教育力を支える。 （主な事業） ・一時預かり事業・親子の絆を深める子育て支援事業・未就園（０～２歳児）親子通園・子育て講座・子育て相談・園庭園舎開放				
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 身近に子育ての悩みや不安を相談できる人がおらず子育てにストレスを感じる保護者や子どもとの関わり方が分からず親子関係に課題のある保護者が見られる。 （見直しや改善等の経過） 令和７年度から「働いていても幼稚園」をキャッチフレーズに、就労している保護者のニーズをとらえ、保育の必要性に応じた預かり保育の利用拡充に取り組んでいる。また、気軽に親子で来られる場としての事業や、親子の触れ合い遊びや家庭でもできる遊びを提供し、園と家庭がつながるような取組を推進した。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市内各地域の未就園親子ならびに幼稚園在園親子を対象として
目的(何のために)	地域における子育ての孤立化解消及び家庭の教育力向上を図るため
手段(どのようなやり方で)	未就園親子通園、園庭園舎開放、遊具用具絵本等の貸し出し、子育て相談、子育て講座、在園児預かり保育、子育て情報の提供等の子育て支援施策により
成果(どのような 状態にするのか)	幼児の心身の発達の助長と保護者の子育てに対する喜びや充足感、幼児の育ちに対する理解等を一層推進する。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	130,099	147,230	153,120	153,645	153,645	153,645	153,645
事業費	4,523	3,898	1,764	2,289	2,289	2,289	2,289
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	4,523	3,898	1,764	2,289	2,289	2,289	2,289
人件費計	125,576	143,332	151,356	151,356	151,356	151,356	151,356
事務・技術（人）	0.52	0.52	0.61	0.61	0.61	0.61	0.61
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	30.38	31.63	33.29	33.29	33.29	33.29	33.29
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0124
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1447　こども未来部幼保支援課
事務事業番号　00017　幼稚園子育て支援事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-20-10-80-00-01-00	幼稚園子育て支援事業費	こども未来部幼保支援課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)未就園親子通園等の実施回数	回	3,200.00 2,926.00	3,200.00 2,838.00	3,200.00 0.00	3,200.00 0.00	3,200.00 0.00	3,200.00 0.00	3,200.00 0.00
(活動)在園児預かり保育の実施回数	回	6,800.00 6,977.00	6,800.00 6,912.00	6,800.00 0.00	6,800.00 0.00	6,800.00 0.00	6,800.00 0.00	6,800.00 0.00
(成果)未就園親子通園等の参加人数	人	25,000.00 18,970.00	25,000.00 20,081.00	25,000.00 0.00	25,000.00 0.00	25,000.00 0.00	25,000.00 0.00	25,000.00 0.00
(成果)在園児預かり保育利用人数	人	70,000.00 90,339.00	70,000.00 87,644.00	70,000.00 0.00	70,000.00 0.00	70,000.00 0.00	70,000.00 0.00	70,000.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	地域の子育てを支援する役割を担っている			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	一時預かり保育の拡充により利用保護者のニーズに応えている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	全園に子育て支援指導員を配置し計画的な事業の充実を図っている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	地域の子育て支援の拠点として家庭の教育力を支え、推進している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	家庭状況や保護者の価値観の多様化がみられる中、未就園事業の在り方や内容を工夫し、保護者が安心して事業に参加できるよう事業周知や発信の工夫に努めている。また、預かり保育時間の拡充による利用促進について、新規利用へつながるよう啓発の工夫を行う。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	市立幼稚園では、幼児教育に加えて、子育て支援機能の役割を果たすとともに、地域における親と子の育ちの場を築いている。今後は子育て支援機能の充実について、子育てニーズを捉えた事業を進めていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1447　こども未来部幼保支援課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00017　幼稚園子育て支援事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)未就園親子通園等の実施回数	回	3,200.00 2,926.00	3,200.00 2,838.00	3,200.00 0.00	3,200.00 0.00	3,200.00 0.00	3,200.00 0.00	3,200.00 0.00
	指標説明	市立幼稚園における親子通園事業と子育て講座の延べ回数						
(活動)在園児預かり保育の実施回数	回	6,800.00 6,977.00	6,800.00 6,912.00	6,800.00 0.00	6,800.00 0.00	6,800.00 0.00	6,800.00 0.00	6,800.00 0.00
	指標説明	平成２２年度からの開始事業・市立幼稚園の子育て支援預かり保育実施合計回数						
(成果)未就園親子通園等の参加人数	人	25,000.00 18,970.00	25,000.00 20,081.00	25,000.00 0.00	25,000.00 0.00	25,000.00 0.00	25,000.00 0.00	25,000.00 0.00
	指標説明	市立幼稚園における親子通園事業と子育て講座の延べ参加人数						
(成果)在園児預かり保育利用人数	人	70,000.00 90,339.00	70,000.00 87,644.00	70,000.00 0.00	70,000.00 0.00	70,000.00 0.00	70,000.00 0.00	70,000.00 0.00
	指標説明	市立幼稚園子育て支援預かり保育利用人数						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0125
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　鹿島 良平
所属　1447　こども未来部幼保支援課　記入者　藤田　則子
事務事業番号　00058　職員研修事業（幼保支援課）

【基本情報】

総合計画	04	大津市総合計画　第3期実行計画			
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります			
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします			
施策	001	切れ目のない子育て支援			
取組の方向性	003	子どもの教育・保育の充実			
事務事業	006	職員研修事業（幼保支援課）			
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	児童福祉法第４５条				
事業概要	（事業概要） ・保育所に求められる役割に応えるため、研修や研究活動を通して公私立保育園職員の資質向上を図り、保育所運営及び、保育内容の質を高める。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） ・子どもの命と権利を守るセーフティネットとしての役割を担い、子どもの発達保障と保護者の子育てを支援するという保育者の専門性と資質向上が更に求められている。 （見直しや改善等の経過） ・第７次研修計画を策定し、計画に基づき実施。対象毎の課題の明確化、研修参加者の学びの共有化を図りつつ進めた。主体的な参加を目指す。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	公立保育所の職員を対象とする。（一部民間保育所職員・地域型保育事業職員も参加の研修とする）
目的（何のために）	保育所等に働く職員が、保育所の運営及び保育内容の質を高め資質向上を図る
手段（どのようなやり方で）	対象者別育成研修（経験年数や職種で分けるもの）及びテーマ（内容）別研修の開催や県・近畿・全国レベルの研修会への派遣・研究部会活動の実施
成果（どのような状態にするのか）	子どもや保護者の実態やその背景の社会情勢を認識し、保育に関する知識と技術を用いて適切に判断・対応する

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	13,745	13,272	13,424	13,424	13,424	13,424	13,424
事業費	1,485	1,516	1,668	1,668	1,668	1,668	1,668
国庫支出金	515	546	587	587	587	587	587
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	970	970	1,081	1,081	1,081	1,081	1,081
人件費計	12,260	11,756	11,756	11,756	11,756	11,756	11,756
事務・技術（人）	0.40	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	1.10	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80
会計年度任用（人）	0.69	0.69	0.69	0.69	0.69	0.69	0.69
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0125
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1447　こども未来部幼保支援課
事務事業番号　00058　職員研修事業（幼保支援課）

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-05-28-00-07-00	職員研修事業費	こども未来部幼保支援課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)実施回数	回	63.00	63.00	63.00	63.00	63.00	63.00	63.00
		60.00	60.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)一人あたりの参加回数	回	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00
		3.60	3.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)参加人数	名	1,800.00	1,800.00	1,800.00	1,800.00	1,800.00	1,800.00	1,800.00
		1,433.00	1,495.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	国や県、関係団体等の研修を活用し、資質の向上に繋がっている			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	職員の保育力の向上に繋がっている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	B
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	経験年数や職種などそれぞれの状況に応じた研修が実施できている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	保育園職員の資質の向上が施策の充実につながっている			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	研修計画に基づき、それぞれの職員に求められる役割や専門性、様々な時事課題や多様な保育ニーズに対応できる研修内容を企画し実施していく。キャリアデザインを意識した主体的な学びを目指すとともに、オンライン研修の実施や園内研修の工夫を図りながら保育の質を向上させていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	公立・民間問わず実施している研修事業は、本市の保育の質の向上に不可欠であり、基本的な保育スキルとともに、子どもを守る意識の醸成や社会情勢等も踏まえた研修内容が必要である。今後も職員一人ひとりの資質の向上に努めていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1447　こども未来部幼保支援課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00058　職員研修事業（幼保支援課）

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)実施回数	回	63.00 60.00	63.00 60.00	63.00 0.00	63.00 0.00	63.00 0.00	63.00 0.00	63.00 0.00
	指標説明	年間で開催した研修会、研究部会、派遣研修の回数						
(成果)一人あたりの参加回数	回	6.00 3.60	6.00 3.60	6.00 0.00	6.00 0.00	6.00 0.00	6.00 0.00	6.00 0.00
	指標説明	参加総数／公立保育園等職員数						
(成果)参加人数	名	1,800.00 1,433.00	1,800.00 1,495.00	1,800.00 0.00	1,800.00 0.00	1,800.00 0.00	1,800.00 0.00	1,800.00 0.00
	指標説明	年間で参加した総数						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0126
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　鹿島　良平
所属　1447　こども未来部幼保支援課　記入者　駒井　将子
事務事業番号　00060　公立保育所運営事業

【基本情報】

総合計画	04	大津市総合計画　第3期実行計画			
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります			
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします			
施策	001	切れ目のない子育て支援			
取組の方向性	003	子どもの教育・保育の充実			
事務事業	007	公立保育所運営事業			
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	児童福祉法				
事業概要	（事業概要） 公立保育園の管理・運営を行う。				
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 就学前児童数は減少しているが、共働き世帯の増加等により保育需要は高い。また、保育士人材の確保が難しいこともあり、入所児童は減少している。一方で、要支援児については増加傾向にある。 （見直しや改善等の経過） 待機児童解消のため、保育士の確保を進めており、今後は大津の保育の質の維持等を考慮しつつ、適正な運営を行う。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	公立保育園及び入所児童
目的（何のために）	公立保育園の管理・運営及び保育の実施
手段（どのようなやり方で）	「望ましい環境の中で心身ともに調和のとれた発達を図り、自主・自立・協調性を養い、豊かな情操と創造性を培う」を大津市基準保育目標とし、保育を実施する。
成果（どのような 状態にするのか）	各年齢ごとに発達の特徴とねらい、内容、保育者のかかわり方を「保育課程」として作成し職員が共通理解の上で子どもの自発性を大切に興味や欲求を満たした生活や遊びを通して個々の発達に応じた保育をする。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	2,428,201	2,652,092	2,895,800	2,896,936	2,896,936	2,896,936	2,896,936
事業費	154,191	149,894	154,898	156,034	156,034	156,034	156,034
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	42	24	18	18	18	18	18
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	66,082	54,217	56,367	60,110	60,110	60,110	60,110
一般財源	88,067	95,653	98,513	95,906	95,906	95,906	95,906
人件費計	2,274,010	2,502,198	2,740,902	2,740,902	2,740,902	2,740,902	2,740,902
事務・技術（人）	180.35	184.80	204.10	204.10	204.10	204.10	204.10
技能労務（人）	7.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00
再任用（人）	1.90	1.30	1.30	1.30	1.30	1.30	1.30
会計年度任用（人）	203.04	222.62	241.78	241.78	241.78	241.78	241.78
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0126
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1447　こども未来部幼保支援課
事務事業番号　00060　公立保育所運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-15-41-00-01-00	公立保育所等運営事業費	こども未来部幼保支援課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)年度当初入所定員	人	1,533.00 1,530.00	1,533.00 1,530.00	1,533.00 0.00	1,533.00 0.00	1,533.00 0.00	1,533.00 0.00	1,533.00 0.00
(成果)年度当初入所児童数	人	1,533.00 959.00	1,533.00 947.00	1,533.00 0.00	1,533.00 0.00	1,533.00 0.00	1,533.00 0.00	1,533.00 0.00
(成果)障害児の受入児童数	人	100.00 98.00	100.00 87.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	公立保育所としての役割を担っている			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	受入児童数が減少しており、受入体制の充実を図る必要がある			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	民間園に知識・技能を効率的に伝え、保育の質の向上を図っている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	保育の提供や保育の質の向上に不可欠な役割を果たしている			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント （４００文字）	公立保育園は、市全体の保育の質を担保するために必要不可欠な役割を担っており、財政的な観点と保育の質の維持・向上のバランスを取りながら適正な運営、管理を行っていく必要がある。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント （４００文字）	大津市基準保育目標に基づき公立保育園の運営を行うことで、質の高い保育環境を提供出来るため、継続的に事業を進める必要がある。また、昨今の保育ニーズの高まりに公立保育園として応えていくため、管理運営を適切に行っていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1447　こども未来部幼保支援課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00060　公立保育所運営事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)年度当初入所定員	人	1,533.00 1,530.00	1,533.00 1,530.00	1,533.00 0.00	1,533.00 0.00	1,533.00 0.00	1,533.00 0.00	1,533.00 0.00
	指標説明	公立保育園の入所定員（４月１日現在）						
(成果)年度当初入所児童数	人	1,533.00 959.00	1,533.00 947.00	1,533.00 0.00	1,533.00 0.00	1,533.00 0.00	1,533.00 0.00	1,533.00 0.00
	指標説明	公立保育園の入所児童数（４月１日現在）						
(成果)障害児の受入児童数	人	100.00 98.00	100.00 87.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	公立保育園の入所障害児数（４月１日現在）						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0127
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　鹿島　良平
所属　1447　こども未来部幼保支援課　記入者　村中　裕弥
事務事業番号　00175　幼稚園管理運営事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001　子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001　切れ目のない子育て支援				
取組の方向性	003　子どもの教育・保育の充実				
事務事業	016　幼稚園管理運営事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等					
事業概要	（事業概要） 幼稚園２８園の管理運営をはじめ、幼児教育活動に必要となる教材や設備等の教育環境の充実を図る。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 少子化や共働き世帯の増加など、社会状況の変化に伴い、幼児教育施設が多様化する中で、幼児教育の質の向上や教育環境の充実が求められている。 （見直しや改善等の経過） 市立幼稚園の３年保育の全園実施に加えて、子どもにとって望ましい教育環境を維持していくために、適正に運営管理を行う。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	園児・教職員
目的（何のために）	各幼稚園の管理運営及び教育活動を円滑に行う。
手段（どのようなやり方で）	各幼稚園の地域の実態に応じ、工夫を凝らした教育環境整備に努める。
成果（どのような状態にするのか）	幼児教育環境の整備・充実を図る。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	53,339	55,175	65,689	66,557	66,557	66,557	66,557
事業費	48,449	49,315	57,429	57,497	57,497	57,497	57,497
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	48,449	49,315	57,429	57,497	57,497	57,497	57,497
人件費計	4,890	5,860	8,260	9,060	9,060	9,060	9,060
事務・技術（人）	0.55	0.65	0.95	1.05	1.05	1.05	1.05
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0127
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1447　こども未来部幼保支援課
事務事業番号　00175　幼稚園管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-20-05-08-00-07-00	幼稚園管理運営費（幼保支援課）	こども未来部幼保支援課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)教材費（消耗品＋印刷製本費－図書）	千円	8,000.00 5,780.00	8,000.00 5,712.00	8,000.00 0.00	8,000.00 0.00	8,000.00 0.00	8,000.00 0.00	8,000.00 0.00
(成果)園児１人当たりの教材費	円	5,500.00 4,781.00	5,500.00 5,333.00	3,700.00 0.00	3,700.00 0.00	3,700.00 0.00	3,700.00 0.00	3,700.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	質の高い幼児教育を提供するために教育環境の整備が必要			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	適正な集団規模の確保が難しくなっている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	地域の実態に応じ、効率的に処理できている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	幼稚園のニーズを反映している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	少子化の進行による就学前児童数の減少に加えて、共働き世帯の増加などによる保育ニーズの高まりを受け、子どもにとって望ましい幼児教育の環境整備を進めていくとともに、適正な園の運営を行う必要がある。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	共働き世帯の増加などによる保育ニーズの高まりを受け、幼稚園の園児数が減少している中、子どもにとってより良い教育・保育の環境を確保を検討していく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1447　こども未来部幼保支援課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00175　幼稚園管理運営事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)教材費（消耗品＋印刷製本費－図書）	千円	8,000.00 5,780.00	8,000.00 5,712.00	8,000.00 0.00	8,000.00 0.00	8,000.00 0.00	8,000.00 0.00	8,000.00 0.00
	指標説明	実績値：決算額						
(成果)園児１人当たりの教材費	円	5,500.00 4,781.00	5,500.00 5,333.00	3,700.00 0.00	3,700.00 0.00	3,700.00 0.00	3,700.00 0.00	3,700.00 0.00
	指標説明	年間教材費／園児数（4歳以上から3歳児以上に目標値を見直し）						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0128
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　鹿島　良平
所属　1447　こども未来部幼保支援課　記入者　村中　裕弥
事務事業番号　02423　子ども・子育て支援事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001　子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001　切れ目のない子育て支援				
取組の方向性	003　子どもの教育・保育の充実				
事務事業	015　子ども・子育て支援事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	子ども・子育て支援法				
事業概要	（事業概要） ①次世代を担う子ども・子育てを社会全体で支援するための施策の検討（多様な方策による保育所待機児童の解消や地域における子育て支援機能の充実）　②子育て家庭をとりまく社会での家庭支援意識の醸成を図る。　③子ども・子育て支援事業計画の施策を推進する。				
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 子ども・子育て支援事業計画に基づく教育・保育の確保、保育人材の確保はますます重要となり、少子化社会対策と相まって日本社会の最重要課題となっている。 （見直しや改善等の経過） 子ども・子育て支援事業計画は、令和２年度から、子どもが生まれる前から自立するまでを対象とした「大津市子ども・若者支援計画」に統合し、その計画の趣旨・背景を踏まえた取り組みを行っている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	子育て世代を対象として
目的(何のために)	子ども・子育て支援の充実を図るために
手段(どのようなやり方で)	子ども・若者支援計画に基づく施策を展開し
成果(どのような 状態にするのか)	幼児期の教育・保育、地域子育て支援事業の質の向上と量の拡充が図られる

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	14,182	19,875	22,735	23,862	23,862	23,862	23,862
事業費	7,732	12,415	15,595	15,602	15,602	15,602	15,602
国庫支出金	3,710	2,934	4,426	4,573	4,573	4,573	4,573
県支出金	0	814	1,745	1,846	1,846	1,846	1,846
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	4,022	8,667	9,424	9,183	9,183	9,183	9,183
人件費計	6,450	7,460	7,140	8,260	8,260	8,260	8,260
事務・技術（人）	0.75	0.85	0.81	0.95	0.95	0.95	0.95
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0128
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1447　こども未来部幼保支援課
事務事業番号　02423　子ども・子育て支援事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-05-28-00-70-00	子ども・子育て支援事業費	こども未来部幼保支援課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)社会福祉審議会児童福祉専門分科会の開催	回	3.00 6.00	3.00 4.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00
(成果)教育・保育、地域子育て支援事業の確保方策の確保割合	%	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	法定計画に基づいた本市の子育て施策の根幹となる事業である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	幼児期の教育・保育、地域子育て支援事業の質の向上に貢献			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	現状を詳細に分析し、計画に基づく事業であり効率的である			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	総合計画で重要施策に位置付けられている事業で貢献度は高い			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント（４００文字）	子育て支援や保育の充実に取り組むとともに、待機児童数の解消に向けた保育人材確保の取り組みを継続的に実施していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント（４００文字）	高まる保育ニーズへの対応と待機児童の解消のため、保育人材の確保と保育の質の向上に向けた取組が重要であり、今後も重点的に取り組んでいく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1447　こども未来部幼保支援課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　02423　子ども・子育て支援事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)社会福祉審議会児童福祉専門分科会の開催	回	3.00 6.00	3.00 4.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00
	指標説明	子ども・若者支援計画の意見聴取、進捗管理を行う会議の開催回数						
(成果)教育・保育、地域子育て支援事業の確保方策の確保割合	%	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	支援計画の年度末の教育・保育、地域子育て支援事業の総確保割合						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0129
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　鹿島　良平
所属　1447　こども未来部幼保支援課　記入者　村中　裕弥
事務事業番号　02547　学校図書充実事業（幼稚園）

【基本情報】

総合計画	04	大津市総合計画　第3期実行計画			
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります			
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします			
施策	001	切れ目のない子育て支援			
取組の方向性	003	子どもの教育・保育の充実			
事務事業	022	学校図書充実事業（幼稚園）			
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	子どもの読書活動の推進に関する法律				
事業概要	（事業概要） 幼稚園児の読書活動を推進するため、幼稚園の蔵書の充実及び読書環境の整備に要する書架等の整備を図る。				
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 幼稚園児の読書活動を推進するため、第四次大津市子ども読書活動推進計画に基づき、幼稚園の蔵書の充実及び 読書環境の整備に要する書架等の整備を図っている。 （見直しや改善等の経過） 第四次大津市子ども読書活動推進計画に基づき引き続き各幼稚園の蔵書等の整備を行う。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	各幼稚園に
目的（何のために）	各幼稚園の蔵書の充実のために
手段（どのようなやり方で）	園児用図書を購入し
成果（どのような 状態にするのか）	幼稚園児が図書に親しむ機会が増える。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	1,487	1,871	1,552	1,552	1,552	1,552	1,552
事業費	1,409	1,391	1,392	1,392	1,392	1,392	1,392
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	1,399	200	0	0	0	0	0
一般財源	10	1,191	1,392	1,392	1,392	1,392	1,392
人件費計	78	480	160	160	160	160	160
事務・技術（人）	0.01	0.06	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0129
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1447　こども未来部幼保支援課
事務事業番号　02547　学校図書充実事業（幼稚園）

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-05-20-61-00-41-00	学校図書充実事業費〔幼稚園〕	こども未来部幼保支援課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)図書購入数	冊	850.00 792.00	850.00 784.00	850.00 0.00	850.00 0.00	850.00 0.00	850.00 0.00	850.00 0.00
(成果)平均図書購入数	冊	29.00 29.00	29.00 28.00	29.00 0.00	29.00 0.00	29.00 0.00	29.00 0.00	29.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	多様な図書に触れることで子どもの感受性の発達に寄与するため			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	幼児期の教育の質の向上と園児の感受性の発達において有効			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	子どもの学習と生きる力を養う基盤につながり効率性がある			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	図書との触れ合いは園児の発達的な側面からも貢献度が高い			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	子どもたちが身近な場所で楽しみながら図書を選び、読み、触れ合う機会を提供することは、幼稚園教育要領に定められた言葉の獲得に関する領域を中心とした発達に非常に有効である。そのため、引き続き図書の充実を図っていく必要がある。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	図書に親しむことは、子どもの育ちや感受性を高めるために大切であり、今後も計画的に図書の充実を図っていく必要がある。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1447　こども未来部幼保支援課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　02547　学校図書充実事業（幼稚園）

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)図書購入数	冊	850.00 792.00	850.00 784.00	850.00 0.00	850.00 0.00	850.00 0.00	850.00 0.00	850.00 0.00
	指標説明	各幼稚園の図書購入冊数						
(成果)平均図書購入数	冊	29.00 29.00	29.00 28.00	29.00 0.00	29.00 0.00	29.00 0.00	29.00 0.00	29.00 0.00
	指標説明	購入冊数／２８園						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0130
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　鹿島　良平
所属　1447　こども未来部幼保支援課　記入者　赤井　加代子
事務事業番号　02621　学校支援総合推進事業〔幼稚園〕

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001　子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001　切れ目のない子育て支援				
取組の方向性	003　子どもの教育・保育の充実				
事務事業	027　学校支援総合推進事業〔幼稚園〕				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等					
事業概要	（事業概要） 各園において幼稚園協力者会議を組織し、幼稚園と地域・保護者がともに協力し合い子どもの育成にあたる。幼稚園運営支援の一方策として、外部人材活用を積極的に行い、子どもとのかかわりや保育環境への働きかけ、安全教育にかかわる取り組みや学校（幼稚園）評価を行う。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 社会が複雑多様化し、子どもを取り巻く環境が大きく変化する中、子どもたちに豊かな感性や道徳心、人間関係作りなどの力を育み、社会生活を送るうえで必要な資質、能力、態度を育成することが大切である （見直しや改善等の経過） 各園で、家庭、地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てていこうとする取組が推進されている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市立幼稚園を対象に
目的(何のために)	幼稚園が家庭や地域社会との結びつきを深め、社会全体で子どもを見守る体制をつくるために
手段(どのようなやり方で)	学校（幼稚園）協力者会議を組織・開催するとともに、地域人材の積極的活用の推進を図り
成果(どのような状態にするのか)	大津市学校園経営の指針に掲げる多様性の尊重と一人一人を大切にした教育を推進し、地域や社会に開かれた園経営を目指す。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	1,460	1,080	1,080	1,080	1,080	1,080	1,080
事業費	280	280	280	280	280	280	280
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	280	280	280	280	280	280	280
人件費計	1,180	800	800	800	800	800	800
事務・技術（人）	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0130
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1447　こども未来部幼保支援課
事務事業番号　02621　学校支援総合推進事業〔幼稚園〕

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-50-05-15-30-00-02-00	学校支援総合推進事業費〔幼稚園〕	こども未来部幼保支援課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)学校（幼稚園）協力者会議の開催回数	回	87.00 73.00	87.00 72.00	87.00 0.00	87.00 0.00	87.00 0.00	87.00 0.00	87.00 0.00
(成果)子どもの幼稚園満足度	点	2.90 2.89	2.90 2.89	2.90 0.00	2.90 0.00	2.90 0.00	2.90 0.00	2.90 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	家庭、地域と連携を図り子どもの育成に取り組んでいる			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	園教育への協力体制の充実、豊かな体験活動の実施が図られている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	外部人材の活用が人と関わる力の育成や豊かな体験に繋がっている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	子どもの学び、子育て支援に直接つながる事業である			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	園経営にあたっては、学校、地域、保護者がより緊密に連携を図る必要がある。また、豊かな体験と共に、命の大切さや人権感覚など、幼児期に育まれる大切な資質を身に付けられるよう、外部人材を活用した事業についても推進していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	幼稚園と地域・保護者がともに協力し、子どもの育ちを支え、質の高い幼児教育のために、引き続き本事業の推進に努める必要がある。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1447　こども未来部幼保支援課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　02621　学校支援総合推進事業〔幼稚園〕

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)学校（幼稚園）協力者会議の開催回数	回	87.00 73.00	87.00 72.00	87.00 0.00	87.00 0.00	87.00 0.00	87.00 0.00	87.00 0.00
	指標説明	幼稚園全体における開催回数の合計（各園３回／Ｒ３から園）						
(成果)子どもの幼稚園満足度	点	2.90 2.89	2.90 2.89	2.90 0.00	2.90 0.00	2.90 0.00	2.90 0.00	2.90 0.00
	指標説明	学校評価における各園の関係者評価結果の平均点						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0131
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　森　雅樹
所属　1410　こども未来部保育入所課　記入者　平松　理枝
事務事業番号　00063　民間保育施設運営助成事業

【基本情報】

総合計画	04 大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001 子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001 子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001 切れ目のない子育て支援				
取組の方向性	003 子どもの教育・保育の充実				
事務事業	001 民間保育施設運営助成事業				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	保育所等運営補助金交付要綱等				
事業概要	（事業概要） 民間保育所等に対し、保育士等の処遇改善や保育環境の充実を目的として、運営費の一部を助成する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 共働き世帯の増加などにより、保育ニーズが高まっている中で、待機児童の解消とともに保育の質の向上が求められている。 （見直しや改善等の経過） 保育士等への処遇改善や障害児保育への保育士配置に係る補助金を拡充してきたほか、新たな補助制度を構築している。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	児童福祉法に基づく認可を受けた民間保育所等
目的（何のために）	民間保育所等の保育士等の処遇改善や保育環境の充実のため
手段（どのようなやり方で）	保育所等が実施する各事業の経費を補助することによって
成果（どのような状態にするのか）	民間保育所等の保育の充実が図られ、もって児童福祉の増進を図る。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	1,876,662	1,956,026	1,810,322	1,966,947	1,966,947	1,966,947	1,967,010
事業費	1,859,832	1,938,586	1,792,882	1,949,507	1,949,507	1,949,507	1,949,570
国庫支出金	231,282	180,916	177,695	200,697	200,697	200,697	200,697
県支出金	223,165	240,884	190,595	216,792	216,792	216,792	216,792
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	33,096	0	0	0	0
一般財源	1,405,385	1,516,786	1,391,496	1,532,018	1,532,018	1,532,018	1,532,081
人件費計	16,830	17,440	17,440	17,440	17,440	17,440	17,440
事務・技術（人）	1.85	1.85	1.85	1.85	1.85	1.85	1.85
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0131
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1410　こども未来部保育入所課
事務事業番号　00063　民間保育施設運営助成事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-20-54-00-01-00	民間保育施設運営助成事業費	こども未来部保育入所課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
（活動）年度当初入所定員数	人	7,043.00 7,041.00	7,110.00 7,086.00	7,110.00 0.00	7,110.00 0.00	7,110.00 0.00	7,110.00 0.00	7,110.00 0.00
（成果）障害児受入園	園	73.00 72.00	73.00 72.00	73.00 0.00	73.00 0.00	73.00 0.00	73.00 0.00	73.00 0.00
（成果）年度当初受入児童数	人	7,061.00 7,107.00	7,064.00 7,029.00	7,064.00 0.00	7,064.00 0.00	7,064.00 0.00	7,064.00 0.00	7,064.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	国・県補助も活用した民間保育施設への助成は妥当である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	障害児保育や入所の受入に効果がある			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	多数の民間保育施設への運営助成は効率的である			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	保育士等の確保と保育の質の向上に運営助成が貢献している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	民間保育施設では、各種補助金の活用により、保育士等の処遇改善や保育環境の充実に取り組んでいる。本事業は待機児童対策としても有効であることから今後も引き続き補助金の活用を推進し、高まる保育ニーズへの対応と保育の質の向上に取り組んでいく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	待機児童対策として今後も事業を継続していくとともに、新たに構築した補助制度の活用を促しながら、さらなる保育環境の充実を図っていく必要がある。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1410　こども未来部保育入所課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00063　民間保育施設運営助成事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
（活動）年度当初入所定員数	人	7,043.00 7,041.00	7,110.00 7,086.00	7,110.00 0.00	7,110.00 0.00	7,110.00 0.00	7,110.00 0.00	7,110.00 0.00
	指標説明	４月１日時点の保育所及び認定こども園の保育利用定員数						
（成果）障害児受入園	園	73.00 72.00	73.00 72.00	73.00 0.00	73.00 0.00	73.00 0.00	73.00 0.00	73.00 0.00
	指標説明	４月１日時点の保育所及び認定こども園の障害認定児童受入園数						
（成果）年度当初受入児童数	人	7,061.00 7,107.00	7,064.00 7,029.00	7,064.00 0.00	7,064.00 0.00	7,064.00 0.00	7,064.00 0.00	7,064.00 0.00
	指標説明	４月１日時点の保育所及び認定こども園の保育利用園児数						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0132
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　清水　隆志
所属　1406　こども未来部子育て支援給付課　記入者　中谷　知美
事務事業番号　00025　母子父子福祉対策事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002　心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	006　地域福祉の推進と社会保障制度の安定運営				
取組の方向性	002　自立支援の推進				
事務事業	003　母子父子福祉対策事業				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	大津市寡婦福祉住宅条例				
事業概要	（事業概要） 母子・父子家庭等の自立促進と福祉の増進を図るため、各種事業を推進する。 寡婦福祉住宅事業　（７戸） 母子福祉団体の育成事業（大津市母子福祉のぞみ会） 母子家庭等の相談事業（ひとり親家庭福祉推進員４８名） ひとり親家庭緊急支援米配布事業（児童扶養手当受給者１，９６４名）				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 子どもの貧困問題が大きな課題となっている中、低収入の割合が高いひとり親家庭にとっては、物価高騰により安定した生活を営む見通しが持ちにくくなっている。 （見直しや改善等の経過） 寡婦福祉住宅の老朽化のため、現入居者と退去の協議を進めていたところ、当該入居者が令和８年１月に亡くなったため、入居者が０名になった。 ひとり親家庭福祉推進制度については、相談状況や後継者不足などの課題があるため、見直しの検討を始めた。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	母子家庭、父子家庭および寡婦の
目的(何のために)	生活の安定と福祉促進を図るために
手段(どのようなやり方で)	生活全般の相談を受け、情報提供や支援を行うとともに、母子福祉団体団体への補助を行うことで
成果(どのような状態にするのか)	母子・父子家庭、寡婦が安心して生活し、児童が健全に養育されるようになる

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	4,911	6,466	4,448	18,558	4,663	4,448	4,448
事業費	1,671	4,866	1,568	15,678	1,783	1,568	1,568
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	108	90	0	0	0	0	0
一般財源	1,563	4,776	1,568	15,678	1,783	1,568	1,568
人件費計	3,240	1,600	2,880	2,880	2,880	2,880	2,880
事務・技術（人）	0.20	0.20	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.42	0.00	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0132
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1406　こども未来部子育て支援給付課
事務事業番号　00025　母子父子福祉対策事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-25-87-00-01-00	母子父子福祉対策事業費	こども未来部子育て支援給付課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)寡婦住宅の入居者の年間延べ人数	人	12.00	12.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		12.00	10.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)母子福祉団体補助金の年間支給額	千円	500.00	500.00	500.00	500.00	500.00	500.00	500.00
		320.19	377.76	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)寡婦住宅の入所率	%	14.29	14.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		14.29	11.90	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)母子福祉団体の事業参加人数	人	250.00	280.00	290.00	290.00	290.00	290.00	290.00
		274.00	496.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	推進員や団体の活動はひとり親家庭の地域支援を展開している			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	団体の活動を通じ、情報提供や具体的支援が出来ている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	団体の自主運営によりひとり親家庭に寄り添った支援ができている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	ひとり親家庭の自立支援につながっている			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	母子福祉団体では、フードパントリーや子ども食堂を始め、各種イベントなどを通じて子どもの貧困対策事業を積極的に展開しながらひとり親の生活ニーズに対応しており、市としても連携しながらニーズの把握に努めていく。ひとり親家庭福祉推進員制度については、関係団体の意見を参考にし、地域において、ひとり親への寄り添った相談支援が続けられるよう制度を見直していく。また、寡婦福祉住宅については、入居者が０名となったことから、今後の方針を検討していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	関係団体との連携・協力を図りながら、ひとり親家庭への支援の充実に引き続き取り組んでいくとともに、ひとり親家庭推進員制度を見直し、地域でのひとり親に寄り添った相談支援が充実できるよう取り組んでいく。寡婦福祉住宅については、今後方針を検討していく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1406　こども未来部子育て支援給付課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00025　母子父子福祉対策事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)寡婦住宅の入居者の年間延べ人数	人	12.00 12.00	12.00 10.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	寡婦福祉住宅７戸中の入所者（月/年）						
(活動)母子福祉団体補助金の年間支給額	千円	500.00 320.19	500.00 377.76	500.00 0.00	500.00 0.00	500.00 0.00	500.00 0.00	500.00 0.00
	指標説明	大津市母子福祉のぞみ会活動補助金額						
(成果)寡婦住宅の入所率	%	14.29 14.29	14.29 11.90	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	寡婦福祉住宅７戸中の入所率　1/7*10/12=11.09（月数10で算出）						
(成果)母子福祉団体の事業参加人数	人	250.00 274.00	280.00 496.00	290.00 0.00	290.00 0.00	290.00 0.00	290.00 0.00	290.00 0.00
	指標説明	ひとり親家庭及び寡婦を対象として実施される事業（ふれあい広場、寡婦の集い、1年生おめでとうの会、母子寡婦福地研修会等）の参加人数						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0133
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　清水　隆志
所属　1406　こども未来部子育て支援給付課　記入者　山田　結実
事務事業番号　00030　母子家庭等就業・自立支援センター運営事業

【基本情報】

総合計画	04	大津市総合計画　第3期実行計画			
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります			
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします			
施策	006	地域福祉の推進と社会保障制度の安定運営			
取組の方向性	002	自立支援の推進			
事務事業	008	母子家庭等就業・自立支援センター運営事業			
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	大津市母子家庭等就業・自立支援センター事業実施要綱他				
事業概要	（事業概要） 母子家庭の母を取り巻く生活環境は大変厳しいことから、不安定な就労や、資格等のスキルを持たない母子家庭の母等に対し、家庭状況、職業適正、就業経験等に応じた就業相談を実施。就業に結びつきやすい就業支援講習会、公共職業安定所等職業紹介機関と連携した就業情報の提供を行うと同時に、離婚前相談や養育費確保に向けた、弁護士・司法書士による特別相談等の事業を実施し、ひとり親家庭の生活の安定を確保し、児童の福祉の増進を図る。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 養育費の減額や未払い、減収に追い討ちをかけるように物価高騰が家計を圧迫している。収入増に向けた就労相談も多く、家計改善も合わせ、安定した生活に向けた包括的な相談支援が求められている。 （見直しや改善等の経過） 平成２６年度にセンター事業を委託から直営に戻し、利用者の利便性の向上と他の相談員との連携向上に努めた。平成３０年度からは養育費支援事業を拡大し令和２年度より養育費確保の新規事業を開始。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	母子家庭の母、父子家庭の父等（ＤＶ被害により、止むを得ない事情により離婚の届出を行っていないもの等を含む）及び離婚を考えている者に対して
目的(何のために)	ひとり親家庭としての生活の安定と児童の福祉増進を図るため
手段(どのようなやり方で)	①職業相談及び就業情報の提供②就業支援講習会などの実施③公共職業訓練受講の案内④母子・父子自立支援プログラム策定⑤特別相談（弁護士・司法書士による法律相談）⑥養育費確保に向けた支援等を実施することで
成果(どのような状態にするのか)	新規就職、雇用条件の向上、養育費の確保ができ経済的に安定した生活を送れるようになる

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	14,973	19,246	17,838	18,476	17,969	17,969	17,969
事業費	3,875	4,650	4,678	5,316	4,809	4,809	4,809
国庫支出金	1,920	2,310	2,316	2,458	2,384	2,384	2,384
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	35	28	40	40	40	40	40
一般財源	1,920	2,312	2,322	2,818	2,385	2,385	2,385
人件費計	11,098	14,596	13,160	13,160	13,160	13,160	13,160
事務・技術（人）	0.31	0.40	0.49	0.49	0.49	0.49	0.49
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	2.17	2.59	2.10	2.10	2.10	2.10	2.10
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0133
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1406　こども未来部子育て支援給付課
事務事業番号　00030　母子家庭等就業・自立支援センター運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-25-87-00-10-00	母子家庭等就業・自立支援センター運営事業費	こども未来部子育て支援給付課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)センターでの相談件数	件	700.00	800.00	800.00	800.00	800.00	800.00	800.00
		825.00	772.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)就労支援講習会参加数	人	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
		32.00	28.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)就労相談による新規就職・雇用条件向上件数	件	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00
		28.00	45.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	生活安定のため就労の支援は必要			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	新規就労や雇用条件向上に繋げている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	B
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	就労支援講座が利用者のニーズに合っている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	安定した就労によりひとり親の自立を推進させている			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	離婚前相談や就労相談に加え生活相談がある中、ひとり親の自立に向けた包括的な支援の必要性は高い。支援員の知識・経験の向上に努めるとともに、他の相談員、ハローワークを始め他機関・他団体との連携を密にし、ひとり親家庭の安定した生活に向けた支援を強化していく。また、養育費や面会交流に対する意識の向上に努め、児童の健全な育成に向けた支援を行う。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	ひとり親家庭の生活安定に向けて、収入増につながる就労に向けた支援を行うとともに、養育費の確保や家計相談など、離婚前後の生活安定につながる相談支援を進めていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1406　こども未来部子育て支援給付課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00030　母子家庭等就業・自立支援センター運営事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)センターでの相談件数	件	700.00 825.00	800.00 772.00	800.00 0.00	800.00 0.00	800.00 0.00	800.00 0.00	800.00 0.00
	指標説明	母子家庭等就業・自立支援センターでの母子家庭の母等の就労相談や離婚前相談等の件数（来所相談延件数）						
(活動)就労支援講習会参加数	人	40.00 32.00	40.00 28.00	40.00 0.00	40.00 0.00	40.00 0.00	40.00 0.00	40.00 0.00
	指標説明	センターが実施する就労支援講習会への参加数。						
(成果)就労相談による新規就職・雇用条件向上件数	件	50.00 28.00	50.00 45.00	50.00 0.00	50.00 0.00	50.00 0.00	50.00 0.00	50.00 0.00
	指標説明	就労相談、プログラム策定後の新規採用・雇用条件向上した者の件数						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0134
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　清水　隆志
所属　1406　こども未来部子育て支援給付課　記入者　山田　結実
事務事業番号　00035　母子父子寡婦福祉資金貸付事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002　心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	006　地域福祉の推進と社会保障制度の安定運営				
取組の方向性	002　自立支援の推進				
事務事業	012　母子父子寡婦福祉資金貸付事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	母子及び父子並びに寡婦福祉法				
事業概要	（事業概要） 母子父子寡婦福祉資金貸付事業は、平成２１年度、本市の中核市移行に伴い滋賀県から権限移譲された事業であり、母子及び父子並びに寡婦福祉法第１３条等に基づき、母子家庭等の経済的自立の助成と生活意欲の助長を図り、併せて、その扶養している児童の福祉の増進を図るため修学資金を始めとした各種貸付を行う。				
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） ひとり親家庭は、平均収入が全国平均より低く、とりわけ母子家庭ではその傾向が強く、十分な貯蓄ができない場合が多い。そのため、修学資金など生活費以外の費用に対応できない家庭がある。一方、低所得の家庭への修学機会の拡大を図るため、学費等の給付金制度が充実してきている。 （見直しや改善等の経過） 国の制度改正に基づき見直しを実施。平成２６年度より父子家庭にも対象拡大。平成２８年度一部の貸付について貸付限度額の引き上げ。平成３０年度、大学院の修学資金等の貸付が可能となった。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	母子父子家庭の母父又はその扶養している児童及び寡婦の
目的(何のために)	経済的自立の助成と生活意欲の助長を図り、その扶養している児童の福祉の増進を図るため
手段(どのようなやり方で)	修学資金等について貸し付けることで
成果(どのような 状態にするのか)	自立生活を目指すことができる

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	39,548	36,317	79,477	62,326	79,072	79,072	79,072
事業費	30,926	27,357	70,157	53,006	69,752	69,752	69,752
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	30,926	27,357	70,157	53,006	69,752	69,752	69,752
一般財源	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	8,622	8,960	9,320	9,320	9,320	9,320	9,320
事務・技術（人）	0.49	0.46	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	1.20	1.20	1.30	1.30	1.30	1.30	1.30
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0134
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1406　こども未来部子育て支援給付課
事務事業番号　00035　母子父子寡婦福祉資金貸付事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
32-05-05-10-20-00-01-00	母子父子寡婦福祉資金貸付金	こども未来部子育て支援給付課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)口座振替件数	件	5,000.00	5,000.00	5,000.00	5,000.00	5,000.00	5,000.00	5,000.00
		4,957.00	4,865.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)修学資金の新貸付件数	件	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
		18.00	7.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)母子父子寡婦福祉資金貸付金貸付額	千円	50,000.00	50,000.00	50,000.00	50,000.00	50,000.00	50,000.00	50,000.00
		30,926.00	27,357.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)元利償還金収納率	%	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00
		58.36	60.68	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	教育の保障や生活の安定のための手段となっている			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	資金が確保できることにより、自立や意欲向上に結び付いている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	貸付がひとり親家庭の負担とならないよう事前相談を行っている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	将来的な経済自立、生活意欲の向上につながっている			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	ひとり親家庭の経済的自立と生活意欲の向上を図るため、引き続き適正な貸付を行う。事前相談の中で、家庭が抱える課題を見つけ、家計の見直しや健全なライフプランへの認識なども含め、将来の自立した生活へとつながる支援に努める。償還が滞っている家庭については、現状を確認しながら、督促の通知や連絡を行うなど償還金の徴収に努めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	ひとり親家庭が、経済的に自立し生活意欲を高められるよう、適切な貸し付けを行うとともに、未納の償還金についても手法を探りながら、確実に徴収できるよう努める。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1406　こども未来部子育て支援給付課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00035　母子父子寡婦福祉資金貸付事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)口座振替件数	件	5,000.00 4,957.00	5,000.00 4,865.00	5,000.00 0.00	5,000.00 0.00	5,000.00 0.00	5,000.00 0.00	5,000.00 0.00
	指標説明	償還金の口座振替件数						
(成果)修学資金の新貸付件数	件	20.00 18.00	20.00 7.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00
	指標説明	進学希望者への貸付件数						
(活動)母子父子寡婦福祉資金貸付金貸付額	千円	50,000.00 30,926.00	50,000.00 27,357.00	50,000.00 0.00	50,000.00 0.00	50,000.00 0.00	50,000.00 0.00	50,000.00 0.00
	指標説明	母子父子寡婦福祉資金貸付金貸付額						
(成果)元利償還金収納率	%	70.00 58.36	70.00 60.68	70.00 0.00	70.00 0.00	70.00 0.00	70.00 0.00	70.00 0.00
	指標説明	元利償還金の収納率（現年・過年度）						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0135
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　岩村　聡
所属　1430　こども未来部児童クラブ課　記入者　金田一　正太
事務事業番号　00041　放課後児童健全育成事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	001　子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001　子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001　切れ目のない子育て支援				
取組の方向性	003　子どもの教育・保育の充実				
事務事業	074　放課後児童健全育成事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	児童福祉法、大津市立児童クラブ条例				
事業概要	（事業概要） 保護者の就労等、放課後、家庭で保育を受けることが困難な児童の健全な育成を図るため、大津市立児童クラブ（３７か所。以下「公立児童クラブ」）を開設、運営している。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 市全体の児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇等により保護者の児童クラブの利用ニーズは増加している。また、宅地開発等の影響により、児童数の増加が著しい公立児童クラブもあるなど、施設の狭あい化の解消が課題となっている。 （見直しや改善等の経過） 施設の狭あい化の解消を目的に、民間事業者による児童クラブの開設、参入促進のための取組を行うほか、学校施設や公共施設を活用しながら児童の遊びと生活のスペースの確保に努めている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、
目的(何のために)	児童の健全な育成を図るため、
手段(どのようなやり方で)	授業の終了後等に公立児童クラブにおいて適切な遊び及び生活の場を与え、
成果(どのような状態にするのか)	児童の放課後の生活を充実させ、保護者が安心して就労等ができる。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	215,585	253,506	274,641	288,177	288,177	288,177	288,177
事業費	181,425	217,414	237,669	251,937	251,937	251,937	251,937
国庫支出金	28,903	24,474	22,924	20,297	20,297	20,297	20,297
県支出金	28,903	28,367	26,684	30,123	30,123	30,123	30,123
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	95,825	120,648	156,613	160,913	160,913	160,913	160,913
一般財源	27,794	43,925	31,448	40,604	40,604	40,604	40,604
人件費計	34,160	36,092	36,972	36,240	36,240	36,240	36,240
事務・技術（人）	2.40	1.58	1.69	1.78	1.78	1.78	1.78
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	3.86	5.33	5.33	5.00	5.00	5.00	5.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0135
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1430　こども未来部児童クラブ課
事務事業番号　00041　放課後児童健全育成事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-40-69-00-01-00	放課後児童健全育成事業費	こども未来部児童クラブ課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)公立の入所児童数　※目標を下回ること	人	3,208.00 3,468.00	3,507.00 3,601.00	3,477.00 0.00	3,477.00 0.00	3,477.00 0.00	3,477.00 0.00	3,477.00 0.00
(成果)公立の受入可能人数に対する５月１日現在の入所率	率	100.00 108.10	100.00 102.68	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	放課後における子育て支援施策の重要な事業である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	遊びや生活を通して児童の健全な育成に寄与している。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	国県の財源を活用し、必要に応じた施設修繕等を行っている。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	保護者の就労と子育ての両面を支援しており施策に貢献している。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント （４００文字）	引き続き必要に応じた修繕等を行いながら施設の適正な維持管理に努めるとともに、小学校の教室や市有施設の活用により受入環境の確保を図り、施設の狭あい化の解消と保育環境の充実に取り組んでいく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント （４００文字）	共働き世帯の増加等を背景として放課後における児童の居場所に対するニーズが高まる中、教育委員会及び学校現場との連携のもと、学校施設のタイムシェアを推進し、保育環境の向上に努めていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1430　こども未来部児童クラブ課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00041　放課後児童健全育成事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)公立の入所児童数　※目標を下回ること	人	3,208.00 3,468.00	3,507.00 3,601.00	3,477.00 0.00	3,477.00 0.00	3,477.00 0.00	3,477.00 0.00	3,477.00 0.00
	指標説明	５月１日現在の入所児童数（受入可能人数を目標値とし下回ることを指標とする）						
(成果)公立の受入可能人数に対する５月１日現在の入所率	率	100.00 108.10	100.00 102.68	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	狭あい化解消のため１００%を下回ることを指標とする。						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0136
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　岩村　聡
所属　1430　こども未来部児童クラブ課　記入者　金田一　正太
事務事業番号　02616　民間児童クラブ運営助成事業

【基本情報】

総合計画	04	大津市総合計画　第3期実行計画			
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります			
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします			
施策	001	切れ目のない子育て支援			
取組の方向性	003	子どもの教育・保育の充実			
事務事業	076	民間児童クラブ運営助成事業			
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	児童福祉法、大津市児童福祉法に基づく放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例				
事業概要	（事業概要） 公立児童クラブの通所登録児童数の増加に伴う施設の狭隘化の解消を目的として、民間児童クラブの参入を促進する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 共働き世帯の増加等を背景として、地域によっては今後も児童クラブの通所ニーズが高まることも予想される。 （これまでの見直し） 平成２３年度から民間児童クラブを運営する社会福祉法人等に補助金を交付し、運営を支援している。また、公立児童クラブの狭あい化が著しい小学校区において、公募により児童クラブ開設に係る補助金を交付している。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	社会福祉法人等の民間児童クラブを開設、運営する者に対して
目的(何のために)	公立児童クラブの狭隘化の解消を目的に
手段(どのようなやり方で)	児童クラブの開設、運営等に係る費用に対して補助金を交付し
成果(どのような状態にするのか)	市内の児童クラブの保育環境が充実し、児童の健全な育成と保護者の就労を支援する。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	428,611	511,900	719,812	843,370	843,370	843,370	843,370
事業費	420,811	498,700	698,772	819,770	819,770	819,770	819,770
国庫支出金	123,643	196,194	231,229	270,564	270,564	270,564	270,564
県支出金	123,643	196,194	231,229	270,564	270,564	270,564	270,564
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	173,525	106,312	236,314	278,642	278,642	278,642	278,642
人件費計	7,800	13,200	21,040	23,600	23,600	23,600	23,600
事務・技術（人）	1.00	1.65	2.63	2.95	2.95	2.95	2.95
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0136
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1430　こども未来部児童クラブ課
事務事業番号　02616　民間児童クラブ運営助成事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-40-69-00-02-00	民間児童クラブ運営助成事業費	こども未来部児童クラブ課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)民間クラブ受入可能人数（施設の生活面積/1.65㎡）	人	1,956.00 2,182.00	2,182.00 2,451.00	2,451.00 0.00	2,451.00 0.00	2,451.00 0.00	2,451.00 0.00	2,451.00 0.00
(成果)一人当たりの基準面積を満たす公立児童クラブ数	箇所	29.00 15.00	29.00 17.00	29.00 0.00	29.00 0.00	29.00 0.00	29.00 0.00	29.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	公立の狭あい化解消に貢献しており、妥当である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	施設数、利用児童数も増加している。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	公立の施設整備費及び人件費に比してコスト減となっている。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	公立の狭あい化解消と子育て環境の充実に寄与している。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	事業の進め方に改善が必要	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	通所ニーズの高い地域において、引き続き民間児童クラブの開設及び安定的な運営を支援するとともに、既存の民間児童クラブの受入能力が十分活用されるよう利用促進を図り、市内全体の受入体制の充実と公立児童クラブの狭あい化の解消に取り組んでいく。		

【部局評価結果】

総合評価	事業の進め方に改善が必要	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	公立児童クラブの狭あい化解消や利用ニーズへの対応に向け、民間児童クラブの開設及び安定的な運営を支援し、地域全体の受入体制の充実を図りながら、狭あい化の解消に努めていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1430　こども未来部児童クラブ課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　02616　民間児童クラブ運営助成事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)民間クラブ受入可能人数（施設の生活面積/1.65㎡）	人	1,956.00 2,182.00	2,182.00 2,451.00	2,451.00 0.00	2,451.00 0.00	2,451.00 0.00	2,451.00 0.00	2,451.00 0.00
	指標説明	施設の生活面積を１．６５㎡で除した数						
(成果)一人当たりの基準面積を満たす公立児童クラブ数	箇所	29.00 15.00	29.00 17.00	29.00 0.00	29.00 0.00	29.00 0.00	29.00 0.00	29.00 0.00
	指標説明	５月１日現在の児童数で一人当たりの基準面積を算定						